

# キウイフルーツ花粉の採取に適した整枝法

## 雄花採取時における負担軽減を目指して

1. 平棚は腕を上げたままの作業が続く



首や肩がこって大変

棚の高さが合わない、踏み台や腰をおとす必要があり、負担が増す

2. V字仕立て、Tバー仕立ては腕を上げる作業が少ない



V字仕立ては主枝の高さを0.5m  
結果母枝を斜め上に配置



作業姿勢は最も楽

Tバー仕立ては主枝の高さを1.8m  
結果母枝を下向きに誘引

表 調査結果(2021年) 供試品種：チーフタン (雨よけ栽培)

試験区	花蕾数(個)		1m <sup>2</sup> 当たり 花粉採取量 (g)	1000花蕾 採取時間 (分:秒)	花蕾の高さ別分布割合(%)			
	1樹 当たり	1m <sup>2</sup> 当たり			0~ 50cm	50~ 100cm	100~ 150cm	150cm ~
V字区	3,128	282	1.7	36:14	0	11	54	35
Tバー区	6,928	618	5.0	36:47	5	40	52	3
平棚区	7,289	504	4.0	28:34	0	0	0	100

※1m<sup>2</sup>当たり花蕾数等は、V字区、Tバー区ともに両側に50cmの通路があると仮定し算出

- ・V字仕立ては、先端から強い新梢が発生し、低い位置の新梢が少なく、1m<sup>2</sup>当たりの花粉採取量は少なかった。
- ・Tバー仕立ては、樹勢が落ち着き、新梢の発生が多く、1m<sup>2</sup>当たりの花粉採取量が最も多くなった。低い位置の花は枝を持ち上げて採取することができ、体への負担が最も少なかった。